

中学地理プリント（書き取り）
世界の気候と文化

名前

得点

/20

- 問1 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？
- 問2 北極海沿岸やグリーンランドなどで一年中気温が低く、非常に寒冷な気候帯を何という？
- 問3 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？
- 問4 草地で家畜を飼いすぎることによって土地が荒れ、砂漠のように植物が育たなくなること何を何という？
- 問5 降水量が少なく農業に適さない地域で見られる、乾燥した草地や荒野が広がる気候帯を何という？
- 問6 大航海時代以降にヨーロッパ人の移住が進み、現在ではキリスト教徒が世界で最も多い国として知られる南アメリカの国を何という？
- 問7 寒帯の地域で、夏の間だけ地面がわずかにとけて草やコケが生える土地のことを何という？
- 問8 ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広がる、寒冷な気候に適応した樹木が作る森林を何という？
- 問9 ステップ気候の地域で、羊や牛などを飼育しながら移動する生活スタイルを何という？
- 問10 イスラム教の信者が年に一度行う、日の出から日没まで飲食を断つ宗教的な行事を何という？
- 問11 砂漠などの乾燥地域で、地下水や河川の水を利用して作物を育てる農業を何という？
- 問12 紀元前6世紀ごろに誕生し、その後、中国や朝鮮半島を経て日本にも伝えられた世界的な宗教の起源となった地を何という？
- 問13 イランなどの乾燥地域において、強い日差しによる蒸発を防ぎながら農業用水を運ぶために作られた、地下水路を何という？
- 問14 イスラム教の信者が、毎日礼拝の際に向かうことで知られるサウジアラビアにある聖地を何という？
- 問15 熱帯の森林を切り開き、木を燃やしてその灰を肥料として利用する伝統的な農法を何という？
- 問16 乾燥が激しく樹木がほとんど育たず、短い草が広がっている気候区を何という？
- 問17 乾燥帯で見られる、短い雨季に短い草が生える程度の草原地帯を何という？
- 問18 ツンドラ気候において、夏にわずかに溶ける状態のものを何という？
- 問19 乾燥帯の地域で、地下水をくみ上げて農業を行う場所を何という？
- 問20 亜寒帯の土地で、寒さのために農業に適さず、酸性を示すことが多い土壌のことを何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問2	答え 氷雪気候	氷雪気候は、最暖月でも平均気温が0度を超えない、寒帯の中でも最も過酷な気候区分です。一年中地表が厚い氷雪に覆われており、植物はほとんど生育できません。南極大陸やグリーンランドの内陸部などがこの気候に該当します。
問3	答え 毛皮	毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。
問4	答え 砂漠化	砂漠化は、過放牧によって草が根ごと食べ尽くされ、表土が風で飛ばされることで起こります。また、樹木の伐採や農耕の拡大も要因です。一度土地が砂漠化すると、土壌の保水力が失われ、再び植物が育つことは非常に困難になります。特に遊牧地域では、移動を繰り返す伝統的な暮らしを離れて定住が進むことで、特定の場所に負担が集中し、この現象が加速しています。
問5	答え ステップ	ステップ気候は、砂漠気候よりもわずかに雨が多いため、短い草が地面を覆う草原地帯となっています。このような環境では、穀物を育てる農業には不向きですが、草を食べて育つ家畜を放牧することは可能です。そのため、中央アジアやモンゴルなどの地域では、人々が家畜を連れて水と草を求めて移動する遊牧というスタイルが古くから定着しています。
問6	答え ブラジル	ブラジルは16世紀からポルトガルの植民地となり、言語や宗教が持ち込まれました。この結果、ブラジルではポルトガル語が公用語となり、キリスト教が人々の生活や文化に深く根付くこととなりました。現在でもブラジルは世界で最もカトリック教徒の数が多く知られています。
問7	答え ツンドラ	ツンドラは、ロシア語の「木が生えない土地」に由来します。短い夏の間にだけ地表の雪がとけ、地衣類やコケ類、わずかな草が生育します。地中の深い部分は一年中凍ったままであることが多く、地表のみが季節的に変化する過酷な植生環境です。
問8	答え 針葉樹	針葉樹は、葉を細い針状にすることで、表面積を減らし、水分が凍結して失われるのを防いでいます。代表的な樹種にはトウヒやモミ、カラマツなどがあります。これらの樹木が密集して広大な森林を作っているのが、北半球の高緯度帯です。非常に成長が遅く、寒さに強いという特徴があります。
問9	答え 遊牧	遊牧は、羊、山羊、馬、牛などの家畜を連れて、季節ごとに適した水場や草地を移動する生活形態です。定住型の農業に適さない環境を賢く利用する知恵であり、古くから中央アジアなどの乾燥地で発達しました。家畜は食料だけでなく、移動式住居の材料にもなります。
問10	答え ラマダン	ラマダンはイスラム暦の第9月に行われる断食期間です。信者はこの期間中、日の出から日没まで一切の飲食を断ち、信仰を深め、貧しい人々に思いを寄せます。日没後には家族や友人と食事を共にし、お互いをいたわり合います。
問11	答え オアシス	オアシスとは、砂漠の中で水が得られる場所を指します。古くから、地下水が出る場所や、乾燥地帯を流れる外来河川の流域で農業が行われてきました。ここでは、ナツメヤシや小麦、果物などが栽培され、乾燥地における農耕のオアシスとなっています。伝統的には地下の導水路である「カナート」などが使われてきました。
問12	答え インド	インドで誕生した仏教は、苦しみからの解放を説く教えとして、人々の間に急速に広まりました。その後、北方ルートを通じて中央アジア・中国・朝鮮半島を経て、6世紀半ばに日本へ伝来しました。
問13	答え カナート	カナートは、山麓の地下水脈から平野部まで、傾斜を利用して地下に長いトンネルを掘り、水を引く仕組みです。この方法は蒸発を最小限に抑えることができ、砂漠のような過酷な環境でも安定した農業を可能にしました。
問14	答え メッカ	メッカはイスラム教における最大の聖地であり、市内にあるカーバ神殿は礼拝の方向（キブラ）として定められています。世界中のイスラム教徒は、毎日この地に向かって礼拝を行うことが義務づけられています。
問15	答え 焼畑農業	焼畑農業は、まず森林の一部を切り開いて燃やします。この時にできる灰は、アルカリ性の養分を豊富に含んでいるため、一時的に土地を肥沃にします。その灰を肥料として利用して穀物などを数年間栽培し、地力が低下したら別の場所に移動して再び同じ作業を行います。このサイクルにより、自然環境の回復を待ちながら農業を継続することができます。
問16	答え 草原	草原は、砂漠と湿潤地域の間位置するステップ気候などで見られる特徴的な景観です。背の高い樹木は育ちませんが、限られた雨水でも成長できる草が一面に広がります。家畜の飼育場所として非常に重要な役割を果たしています。
問17	答え ステップ	ステップとは、降水量が年間を通じて少ない地域に見られる、樹木のない短い草の草原地帯です。雨が降る短い期間にだけ草が一斉に成長し、それ以外の時期は枯れ草となります。砂漠と草原の境界的な環境であり、広大な地域が家畜の放牧地として利用されることが多いのが特徴です。
問18	答え 氷雪	氷雪は、ツンドラ気候などの寒冷な地域で地表を覆う氷の塊や積雪を指します。夏の短い期間だけ地表に近い層が少しだけとけることがありますが、地下深くは凍結したままです。この過酷な状態が、植物の生育を制限し、独自の生態系を維持する要因となっています。
問19	答え オアシス	オアシスとは、砂漠などの中であって、地下水を利用して植物が育ち、農業や集落が維持できる場所です。自然に湧き出る泉のほか、古い時代から開発された地下水路を利用して、ヤシや穀物、果物などを栽培するオアシス農業が行われています。
問20	答え ポドゾル	ポドゾルは、針葉樹林の腐植層の下に形成される灰白色の土壌です。酸性が強いため養分が溶け出しやすく、農業にはあまり適していません。寒冷な気候条件がもたらす独特の土壌形成プロセスによって、この色が特徴的な地層が作られます。